平成 25 年 6 月の解説（府県天気予報）

【6 月の天候状況】

上旬は、北・東日本は、高気圧に覆われて晴れの日が多くなりました。北日本日本海側・太平洋側、東日本日本海側は、統計を開始した 1961 年以降、6 月上旬としては降水量が最も少ない値を更新しました。北日本日本海側は、日照時間が最も多い記録も更新しました。西日本は、梅雨前線が日本南岸に停滞しやすく曇りや雨の日が多くなりました。沖縄・奄美は、梅雨前線の影響を受けにくく、晴れの日が多くなりました。

中旬は、旬前半の 12～13 日には、日本の東の高気圧や台風第 3 号の影響で南から暖気が流入したため、北・東日本日本海側、近畿を中心に高温となり、全国の気象官署 12 地点で 6 月としての日最高気温の高い方からの 1 位を更新しました。また、関東の一部以外は降水量の少ない状況が続きました。旬後半の 18 日から 21 日には、西日本から東日本に停滞した梅雨前線や台風第 4 号から変わった低気圧の影響により、北陸、西日本、沖縄では大雨となり、総降水量が 300 ミリを超えるところもありました。

下旬は、北日本では、上空の寒気や梅雨前線の影響で曇りや雨の日もありましたが、高気圧に覆われて晴れの日もありました。東・西日本は、梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多く、降水量も多くなりました。23 日から 26 日には、九州から日本の南海上にかけて停滞した梅雨前線と低気圧の影響により、西日本で大雨となり九州南部では総降水量が 400 ミリを超えるところもありました。沖縄は高気圧に覆われて晴れの日が多くなりましたが、奄美は 26～27 日に梅雨前線の影響で雨となりました。

月平均気温は、沖縄・奄美でかなり高く、北日本、東日本、西日本で高くなりました。秋田、若松（福島県）では 6 月の月平均気温の高い方からの 1 位を更新しました。月降水量は、北日本ではかなり少なく、沖縄・奄美では少なく、釧路（北海道）、大船渡（岩手県）、青森、深浦（青森県）、秋田では 6 月の月降水量の少ない方からの 1 位を更新しました。一方、西日本太平洋側で多くなり、高松（香川県）では 6 月の月降水量の多い方からの 1 位を更新しました。

【6 月の検証結果】

17 時発表の天気予報による「降水の有無」の適中率の全国平均についてみると、明日予報は例年値(注) より 1 ポイント高い 83%、明後日予報は例年値と同じ 76%でした。各地方の適中率についてみると、明日予報は、北海道・東北・北陸地方で例年値より 5～8 ポイント高く、九州北部・沖縄地方で 6～7 ポイント低くなりました。明後日予報は、北海道・東北・近畿地方で例年値より 7～10 ポイント高く、九州北部・南部地方で 11～13 ポイント低くなりました。

明日の最高気温の予報誤差は、全国的に概ね例年値と同程度になりました。全国平均は例年値より 0.2℃小さい 1.8℃でした。最低気温の予報誤差は、全国的に概ね例年値と同程度で、全国平均は例年値より 0.1℃小さい 1.2℃でした。

（注）例年値は気象庁ＨＰ（予報精度検証）内「月毎の精度の例年値」を参照してください。

【8 月の天気予報の利用にあたって】

8 月は、9 月と並んで台風による災害の多い月です。1981 年～2010 年までの 30 年間の平均では、8 月の台風の日本への接近数は 3.4 個、上陸数は 0.9 個で、それぞれ年間を通して最も多い月となっています。最近 10 年間では 2004 年 8 月が多く、接近数は 6 個、上陸数は 3 個で、暴風や大雨、高潮などによって大きな災害が全国各地で発生しました。

台風が日本付近に接近、または通過すると予想されている場合には、最新の台風情報や気象情報、警報・注意報などに十分留意して下さい。